

舞台芸術制作者オープンネットワーク

ON-PAM 記名提言

「政策提言調査室によるステートメント」

2017年10月3日

## 政策提言調査室によるステートメント

ON-PAM は舞台芸術に関わるアーティストと観客をつなぐ制作者、研究者、中間支援組織、批評家などによる、ヒエラルキーを持たない、オープンな会員制のネットワークです。ON-PAM では、会員が社会的な立場や国籍、年齢などにとらわれず、一人の人間として主体的に参加でき、自由な議論を繰り広げる「風通しの良いネットワーク」を目指しています。

「風通しの良いネットワーク」とは、多様な価値観の間に生まれる差異や、それぞれの視点の違いを包括し、価値観や視点の異なる人々が共存し、共有することのできる複数性を包含するネットワークであり、公共的な場の形成を目指しています。あるひとつの共通目標を達成したり、政治的な合意形成のために同質性を高めることを目的とするのではなく、異なる背景や価値観を持つ人たちが集まる中で、価値観を共有し、関係を構築し、情報を交換することを目的としています。また、それぞれの考えや意見を建設的にぶつけ合うことで、新しい価値を生み出し、社会的イノベーションを引き起こす可能性を持っています。

同時に、「舞台芸術は社会全体の利益の増進に寄与する」という認識のもと、舞台芸術の社会的役割、公共性を常に模索し、同時に発信していくことを目的としています。例えば、舞台芸術は、リアルな身体を用いながら時間と空間をコントロールし、作り込まれた時空間を観客と共有することで、日常を生きる我々に強い衝撃を与え、価値観を揺り動かし、新たなビジョンを提示します。こうした「非日常」的な体験を与えることで、現代社会のある一面を鮮やかにすくい取り、顕在化させることができます。私たちはこのような舞台芸術のもつ社会的な価値を明確な言葉にし、社会へ向けて発信・共有し、アーティストと共にその価値をより一層高め、社会へ還元していくことを目指しています。

### 【提案者】

政策提言調査室長 奥野将徳

政策提言調査室 横山義志、鈴木拓、西山葉子

【賛同者】\*五十音順

池田治樹

今尾博之

折田彩

川口聡

小室明子

武田知也

千田優太

塚口麻里子

中山佐代

平松隆之

廣川麻子

丸井重樹

三坂恵美

山浦日紗子

幸村和也

他、匿名者含む ON-PAM 正会員のうち 20 名